

## ガイダンス

### 1. 実験の予定

10月02日(水)	第1回目	ガイダンス・班分け
10月09日(水)	第2回目	熱環境の測定(その1・説明)
10月16日(水)	第3回目	熱環境の測定(その2・測定の実施)
10月23日(水)	第4回目	熱環境の測定(その3・補足説明)
10月30日(水)	第5回目	音環境の測定(その1・説明)
11月06日(水)	第6回目	音環境の測定(その2・測定の実施)
11月13日(水)	第7回目	音環境の測定(その3・補足説明)
11月20日(水)	第8回目	光環境の測定(その1・説明)
11月27日(水)	第9回目	光環境の測定(その2・測定の実施)
12月04日(水)	第10回目	光環境の測定(その3・補足説明)
12月11日(水)	第11回目	空気環境の測定(その1・説明)
12月18日(水)	第12回目	空気環境の測定(その2・測定の実施)
01月15日(水)	第13回目	ビル管理法に基づく環境の測定
01月22日(水)	第14回目	実験用空調設備システムの運転

音環境：道路交通騒音の測定，室内騒音の測定など

光環境：照度の測定，輝度の測定など

熱環境：温湿度の測定，壁の表面温度の測定，グローブ温度の測定など

空気環境：風速の測定，空気汚染の測定など

原則として3週間で一つの項目の実験を行います。ただし、「空気環境の測定」は、冬休みに入るので、2週間でいきます。

一つの項目ごとに実験レポートを作成してください。レポートの締め切りは、原則として、(その3・補足説明)を行った週の金曜日までとします。例えば、「熱環境の測定」の場合は、10月25日(金)が締め切りとなります。その後、レポートを採点(4段階程度)し、次の項目の(その1・説明)で返却し、講評する予定です。なお、「空気環境の測定」のレポートの

締め切りは、皆さんと相談して決定します。

また、冬休み後の実験についてのレポートの作成、締め切りならびに返却についても皆さんと相談して決定します。

上記の予定は、皆さんと相談したり、検討した結果、変更になることも考えられますので、欠席した際になどには、十分注意してください。変更がある場合は、できるだけ速やかに掲示するようにします。

実験に使用する部屋は、原則として設備システム実験室（環境共生学部棟旧棟（生活科学部棟）の実験実習棟2階）とします。次回から、間違えないように集合してください。

## 2．参考図書

- 1) 環境工学教科書研究会編著「環境工学教科書 第二版」（彰国社，3,675 円，「環境設備原論」（2年生・後期担当）教科書）
- 2) 建築設備学教科書研究会編著「建築設備学教科書 新訂版」（彰国社，3,675 円，「環境設備システム学」（3年生・前期担当）教科書）
- 3) 日本建築学会編「建築環境工学実験用教材 I 環境測定演習編」（日本建築学会，1,890 円）
- 4) 日本建築学会編「建築環境工学実験用教材 II 建築設備計測演習編」（日本建築学会，1,470 円）

また、その他の参考文献は、毎回配布する予定の資料の最後に載せるなどして、適宜紹介します。レポート作成の際などに参考にしてください。

なお、1)については、できるだけ毎回持参してください。

## 3．成績の評価

- 1) 成績は出席点とレポートを総合して、評価します。実験なので、当然ですが、定期試験はありません。
- 2) 出席点が約5～6割、レポートが約4～5割として評価します。

#### 4．配付資料

講義で配布する資料などは，できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので，必要な人や欠席した人は，各自でダウンロードしてください。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/jikkenn.html/kyojikkenn.html>

#### 5．担当者（レポートの提出先）

質問・レポートの提出先は，以下の担当者まで。

講師・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階西南角

電話：096-383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

助手・香川 治美

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南側中央付近

電話：096-383-2929（内線482）

e-mail：haru206@pu-kumamoto.ac.jp